



冬がやってきました。季節の中で冬が好きという人は少ないようです。寒くて、日も短くなり、活発に動けないことも多くなってきます。そんな時には、こたつにはいって、ゆっくり読書を楽しんではいかがでしょうか。

読書というと、静かに目で読むというのが普通のスタイルですが、時には音読してみるのも楽しいものです。黙読しているとき、使っているのは視覚ですが、音読しているときは、視覚、聴覚を使います。口を動かすという運動も加わって、脳にはより多くの刺激が伝わります。健康にもいいし、ストレス発散もできますよ！



## 冬に聞きたいおはなし

### 牛方とやまんば

日本の昔話の中でも代表的な、怖いお話です。冬の寒い夕暮れ時。牛方が牛の背にひだらを積んで山を越えていると、やまんばが追いかけてくる。ひだらも牛もくれてやり、必死で逃げる牛方は一軒の家に飛び込むが、やれやれと思ったところが、そこに入ってきたのは...。恐ろしさのなかにも、やまんばと牛方のやり取りはユーモラスでもある。

類話はたくさんあり、絵本もあります。

松谷みよ子再話

愛蔵版おはなしのろうそく 4

ながすね ふとはら がんりき

東京子ども図書館



## 冬に読みたい絵本

### ふゆめがっしょうだん

24種類の木の芽の写真に長新太さんの詩を合わせた写真価額絵本です。

冬の公園や雑木林。木の葉を落とした木々。ふゆめは冬の木々の芽たち。その姿を拡大してみると、ウサギがいたりコアラがいたり...動物たちの顔に見える。一つ一つが個性的でとても楽しい。

冬って寒くて外に出るのがイヤだけど、木たちの冬芽を見てみたいと思わせてくれる。春に向けて準備をしている木たちを応援したくなる。

作:長新太

写真:富成忠夫 茂木徹

福音館書店



## 図書館おはなし会で語ったおはなし

2016 年秋

## 重春小学校朝の読み聞かせで語ったおはなし

- 9月 屋根がチーズでできた家 (子どもに語る北欧の昔話)
- 10月 三枚のおふだ (おはなしのろうそく)  
ひなどりとねこ (子どもに聞かせる世界の民話)
- 11月 おばあちゃんのたね (こうさぎけんたとホットケーキ)

- 6年生に 「りこうなおきさき」(岩波書店)
- 5年生に 「クルマわりのケイト」(おはなしのろうそく)
- 1年生に 「三びきのこぶた」(福音館書店)



### ◆冬休みおはなし会のお知らせ◆

小学生の子どもたちから大人の方まで楽しめる「おはなし会」を開催します。

12月24日(土) 午後2時～(約30分)

西脇市図書館 おはなしのへやにて

ストーリーテリングと絵本読み聞かせ



### ◆重春小学校でのおはなし会◆

図書館と学校との連携活動の「図書館の読み聞かせ学校訪問」活動として朝のおはなし会をしました。

朝の15分間、子どもたちはキラキラ目を光らせて、おはなしの世界を楽しんでくれていました。うれしいひと時でした。耳からおはなしを聞く楽しみがさらに広がりますように。



## 図書館おはなし会

毎月第2土曜日 午後2時～(30分程度)  
おはなしのへやにて

対象: 6才ぐらいから大人まで

(言葉だけのおはなしを楽しんでもらうため)

内容: ストーリーテリングと絵本

※予約はいりません。お気軽にご参加ください

～想像の翼を大きく広げて～

耳から聞くおはなしの楽しさを多くの人に届けます。興味のある方はぜひ一度聴いてみてください。

【おはなし会のお問い合わせ】

西脇市図書館 (電話 0795-23-5991)

パルランド 丸山 (電話 090-8930-0921)

パルランド通信は「パルランド」が発行しています。

